



きょうと かんじ たんけんたい 京都漢字探検隊



だい かい かみさま いただ かんじ 第6回 神様から頂いた漢字

おおむかし ちゅうごく もじ つく おうさま めい けらい み まわ み めだ
大昔の中国。「文字を作れ」と王様に命じられた家来は、身の回りのものを見て、その目立つと

ころを形に表すことを考えつきました。大昔の人は、何を見て神様だと思ったのでしょうか。神

さま かんけい かんじ こんかい とくべつ はら う
様に関係する漢字を探検します。今回は特別にお祝いを受けることができます。

にち じ ねん にち
日 時 2008年2月10日(日)

ここ じ し ぶん
午後2時~3時30分

ば しょ きたの てんまんぐう しゃむしょ
場 所 北野天満宮 社務所



地下鉄今出川駅より市バス51・203系統

京阪出町柳駅より市バス203系統

京阪三条駅より市バス10系統

阪急四条大宮駅より市バス8・55系統

京福電車白梅町駅より徒歩5分

いずれも「北野天満宮前」下車すぐ



もうしこみ 費用は、400円(小学生以上 資料代・特別昇殿参拝初穂料込み)
未就学児が参加する場合はご相談ください

定員は、50名。先着順。

葉書、ファクス、E-mailにて、以下の項目を記入して下記まで送ってください。

住所 氏名 年齢 お子様は学校名・学年

連絡先(電話・ファクス番号、E-mail アドレス等)

問い合わせ 立命館大学白川静 記念東洋文字文化研究所

申し込み先 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

電話 075-465-8151 ファクス 075-465-7899

E-mail toyomoji@st.ritsume.ac.jp



同じ日の10時30分からは、一般向け「大人の漢字探検隊」を開催します

京都漢字探検隊って何？

「血」は、どうして「皿」に「丶」が付いているの？

「雲」の下についている「云」って何？

色を表す字に「いとへん」や「くさかんむり」のつくものが多いのはなぜ？ **紅** **藍** **緑**

こんなことを考えたことはありませんか。漢字ができたのは、大昔の中国です。でも、わざわざ

中国へ行かなくても、今の京都でその答えを見つけることができます。「京都漢字探検隊」は、教室

から飛び出して、みんなで漢字の謎を探ります。

おうちの方へ

「人」「動物」「気象」「衣服」等、毎回一つのをテーマとして、公共施設等を見学、実物を見学したり体験したりして、漢字の成り立ちを学習します。

漢字と各分野の専門家による解説を行います。

白川静って誰？

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。

しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。およそ50年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。

おうちの方へ

白川静博士（1910-2006）は、漢字研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。